

～現場でよく遭遇する英語表現の落とし穴や日本人が間違いやすいポイントを解説～

1名分料金で
2人目無料

医薬品のグローバル開発に必要な実践英語講座【LIVE配信】 【アーカイブ配信】

◆日 時：2025年11月27日(木) 12:30～16:30

【アーカイブ配信：12/1～12/10(何度でも受講可能)】

◆会 場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251134>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講 師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

メドベイス・ジャパン(株) Associate Director, Regulatory Submissions 杉原 聡 氏

【主な略歴】東京理科大学理工学部応用生物科学科卒業。外資系製薬会社、外資系CROの日本支社、国内CRO海外部門、中国系製薬企業で、臨床開発、薬事、品質管理、安全性管理等を担当。2020年12月より現職。

【主な著書、講演】・医薬品グローバル開発に必要な英語実務集、R&D支援センター、2018年6月29日刊

・Coordinating all elements of supply chain: Assessing NIMP import regulations

to avoid delays at trial, Arena International, Clinical Trial Supply East Asia in Korea, 2016年11月

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

国際共同試験の実施や管理をはじめ医薬品等開発においては英語力が必須となっている。英語の教材やセミナーは溢れているが、医薬品等開発においては自然科学や医療、法規に関する深い造詣がないと適切に翻訳できない専門用語も多く、また実際に業界の現場でnative speakerが汎用している基礎的表現が紹介されていない場合も多い。本講演では実際に汎用されている表現、特に日本人が間違いやすい表現を中心に、文法的説明を避け、1. 例文の紹介、2. 科学的意味、3. 言語的感覚、の三方向から解説することにより、短期間に基礎的な英語コミュニケーション力の飛躍的向上を図ることを目的としている。

1. はじめに

2. コミュニケーションに必要な基礎英語

Q. 文字化けして読めなかったらどう返す？

Q. 「事務局のヒアリングを受ける」ってどう書く？

Q. 「スライドの一番左」は何て言う？

Q. 質問が通じなかったら？

2.1 E-mail 2.2 モニタリング報告書 2.3 プレゼンテーション 2.4 会議

3. 試験関連文書の英語と翻訳

Q. "Over 24 weeks"とは「いつ」を指す？

Q. "Early termination"とは「早期終了」？「中止」？

Q. "Investigator", "Study Doctor", "Your Doctor"はどう違う？

Q. "Ambient", "Room temperature"はどう訳す？

Q. "Treatment" は「治療」のこと？

Q. 数字と単位の間スペースは「あり」？「なし」？

3.1 臨床試験プロトコル(臨床の英語) 3.2 同意説明文書(患者向けの英語)

3.3 治験薬概要書、IMP(非臨床、CMCの英語)

3.4 その他の文書

3.5 翻訳会社の活用方法

4. 特に日本人が注意すべき表現のまとめ

Q. "Should"と"Will"はどっちが強い？ Q. "It is OK"は肯定？それとも否定？

Q. "High-level"な答えを要求されたら「詳細に」？それとも「簡潔に」？

Q. "Please ...", "Do you know ...?"は失礼？

Q. "Fix"と"Stable"と"Finalization"

4.1 助動詞の使い方

4.2 紛らわしい単語・表現

4.3 失礼のない依頼、催促

4.4 その他

5. コミュニケーションの英語の実例と習得のポイント

Q. "Sharing", "Update", "Clarification"ってどう使う？ Q. 図表はどう説明する？

Q. 治験の進捗確認のテレカンはどうなうに進めるの？

5.1 E-mailによるやり取りの例(種々の業務、状況)

5.2 プレゼンテーションの例

5.3 TCの例

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『医薬品英語』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できない場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>